

事業番号	44
------	----

平成24年度事業評価シート（平成23年度事業の評価）

1. 事業の概要

事業名	西部公民館事業			担当課	西部公民館	
事業期間	開始年度	S59	～	終了予定年度	担当係	公民館係
総合計画	めざすまちの姿	人が育つまち				
	目標	学習・スポーツ活動の環境を充実する。（生涯学習・スポーツ振興）				
	成果指標	利用者を増やすため、各種講座を開設する。現在延べ1,300人を中間目標には、1,500人とする。また講座修了後には自らが可能なサークルに育成する。	中間目標 (H27)	1,500人	最終目標 (H32)	1,500人
予算区分	一般会計	10 款 教育費	6 項 社会教育費	3 目 公民館費		
	細事業	1051 西部公民館等管理運営費				
位置づけ	関連計画					
	根拠法令	社会教育法・公民館条例				
実施主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input type="checkbox"/> その他					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 市が直接実施・運営 <input type="checkbox"/> 一部又は全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他（					
対象(誰のため)	<input checked="" type="checkbox"/> 全市民 <input type="checkbox"/> 特定の市民 <input type="checkbox"/> 特定の団体 <input type="checkbox"/> その他					
事業の目的(何のため)	地域住民のために、住民の知識の向上、健康増進、情操の鈍化を図り、生活文化の振興に寄与する。					
内容(概要)	【講座の開設】 住まいのお手入れ(全10回) 受講者数 8人 手軽にスイーツ(全10回) 受講者数 16人 nani Aloha フィットネス・フラ(全10回) 受講者数 55人(前期・後期) 初めての押し花(全10回) 受講者数 17人(前期・後期) リンパマッサージ (全8回) 受講者数 20人 低カロリーレシピ (全10回) 受講者数 20人 親子で陶芸教室 (全2回) 受講者数 21人 地場産品を使った料理講座(全1回) 受講者数 9人 【西部公民館まつり】11月26日～27日 来場者2,300人					
これまでの改善・見直しの状況	講座修了後に講座についてのアンケートを取っていたが、申込時にも、受講生へ内容についての要望を聞くためアンケートの実施を行った。					

2. コスト

(単位:千円)

		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成23年度事業費
事業費	予算	13,262	13,497	12,505	(内訳)
	決算	12,472	12,513		
財源内訳	国庫支出金				人件費 31
	県支出金				物件費(旅費、委託費等) 9,986
	地方債				維持補修費 1,645
	その他	2,161	2,263	2,026	補助費等 851
	一般財源	10,311	10,250	10,480	12,513
職員人件費	13,427	13,601	13,609	人工	1.8人

3. 事業の評価

事業の実施状況

活動指標	内容	単位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	達成率
	講座開設		講座			
目標			12	10	10	
まつり来場者数		人				115%
		目標	1,600	2,000	2,000	

平成23度 活動内容	<p>各種講座を開設するなど生涯学習の場を提供する。</p> <p>利用団体に発表の場を提供することで活動の目標になると同時に生きがいに貢献。普段利用していない市民もまつりに来てもらうことで、公民館活動をPRした。</p>				
課題・問題点 となった事項	<p>アンケートに基づいて開設した講座でも、募集人数に対して応募者の少ない講座がある。（趣味の多様化？）</p> <p>既存サークルの会員数が減少している。（高齢化）</p> <p>サークル化しやすく、多くの人が集まる講座の選定が課題。</p> <p>まつりの来場者に対して、出展者の活動内容をPR出来ていない。</p>				
どう対処したか	<p>より多くの市民へのアンケートを実施し、幅広く市民の意見を集めた。</p> <p>西部公民館のホームページ、チラシなどで会員募集を行った。</p> <p>民間及び他市の講座・サークルを調査した。</p> <p>説明者を配置し、団体の活動内容の紹介に努めた。</p>				
改善点				効果額 H24-H23 (千円)	

事業目的の 達成状況	講座については、申込み時初日より、多数の方が来館し申込を行った。公民館まつりにおいても、天候にも恵まれ、多数来館者もおおり、盛況で、アンケートには毎年楽しみにしている。また来たい等の意見が多かった。このことからして、ほぼ目標を達成できた。				
※必要性 事業を廃止・休 止したときの影響	住民同士のふれあい、生涯において学習する機会が消滅する。				
判定	A 継続	より一層の充実を図り実施	事業主体	市	
判定理由	生涯学習の場を提供し、教養向上・健康増進をはかる。また地域住民の仲間づくりや生きがいに貢献するためにも、市民のニーズを把握し、HP等でPRを積極的かつ効果的に行う必要がある。				
今後の方向性	<p>既存サークルの高齢化による会員数の減少のため、若年層への会員募集の呼びかけを行う。</p> <p>趣味の多様化へ対応するよう広く市民の声を聴き魅力ある講座の開設に努める。</p> <p>年間1サークルの立ち上げに努める。</p>				